

Convenient tool(クリエイトヘルパー)は、システムの開発、保守・運用の際にSE作業の効率化を図ることができます。



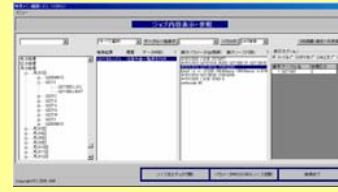
テーブルレイアウト参照

DBからデータを抽出する様なプログラムを作成する際には、テーブルを選択し、必要な項目、条件となる項目を選択することによりSELECT文、カーソル文の作成を行うことができます。



ジョブ内容表示参照機能

使用されているJCLやプログラムの参照を行うことができます。



全プログラム参照機能

全プログラムを一覧に表示し、プログラム中で使用しているテーブル・コピー句・CALL文・ファイルを参照することができます。また、この画面からDB退避・復元画面を起動することにより、使用しているテーブルを自動で選択し、DBのバックアップを容易に行うことができます。

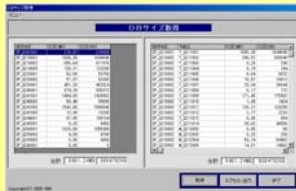


今までよりも『簡易』、『確実』、『迅速』に作業を行えます。



DBサイズ取得機能

現在使用しているDBサイズを取得することができます。



Convenient tool クリエイトヘルパー

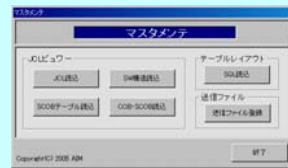
DB退避・復元機能

プログラムの改修や新規に処理を追加する時に、任意のテーブルを事前にバックアップすることができます。また、処理に不具合が発生した時には事前のバックアップデータよりリカバリすることができます。



マスタメンテ機能

動作環境の設定としてJCL、SQL、SCOBテーブル、COB・S COBの読み込みを行い、最新の状態にすることができます。



資産配布機能

コンパイルしたモジュールや修正したJCL・帳票定義体を配布したい時には、一覧にあるファイルを選択することにより配布を行うことができます。



コンパイル機能

新規にプログラムを作成した時や、新規に作成したプログラムを呼び出すプログラムをコンパイルする際には、リンクを意識することなくコンパイルを行うことができます。また、SQLを使用しているプログラムのコンパイルをする際にもプレコンパイルをしてコンパイルをするという手順を踏まなくても一緒に行うことができます。

